

5周年次総会が、フランス・パリにおいて世界各国から選出された63名の首長が参加し、オンラインにより開催されました。

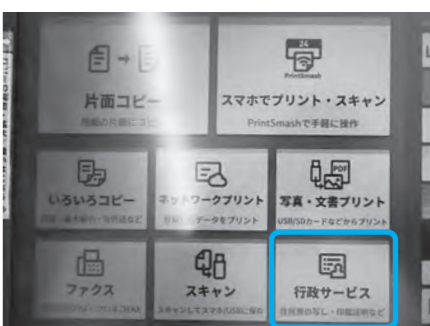
世界の各都市が5年間で社会的包摂による成長をとげ、直面する課題、世界的にパンデミックを起こしている新型コロナウイルスに対する各都市の取り組みにおいて、経済政策やメンタルヘルス対策など、情報の共有が図られました。日本国広野町長として参加し、全町避難を余儀なくされたが、9割の町民が帰還した。と復興の現状を説明し、新型コロナウイルス感染拡大を巡る対応について『人にやさしいまちづくり条例』を制定し、感染者らに対する誹謗中傷や偏見に基づく差別的な言動を防ぎ、互いにリスペクトする社会創出に取り組んでいる。東京五輪については「多くの支援に対する感謝と復興・創生に向けて躍進する元気を届ける」そして、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故においては、国際社会から頂きましたご支援ご厚情に対して感謝の意を世界のリーダーへ伝えました。若者の明るい未来を守るため「コロナ禍からの回復のための包摂性に関する若者の誓い」という共同文書を採択し、3日間にわた

る総会が閉会しました。6月3日、ふるさと福島広野会の坂本潤之助会長のご縁から、オリンピックのカヌースラローム競技会場である江戸川区、公益財団法人えどがわ環境財団の土屋典昭事務局長、関係者20名の参加のもと、約150本のひまわりの植栽を行いました。6月5日、二ツ沼総合公園において、花いっぱい運動を2年ぶりに開催しました。花を植えることで景観を良くし、明るく住みやすい町づくりを目指し、約100名の参加者のもと、サルビアやマリゴールドなど約4000本の植栽を行いました。新型コロナウイルス感染対策として、密を避け、マスクを着用し、短時間での実施としました。

町民税務課

4月1日、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストア等の多機能端末機

から住民票の写し、印鑑登録証明書、課税・非課税証明書、所得証明書、納税証明書の各種証明書を取得できるサービスを開始しました。



コンビニ交付写真

健康福祉課

3月25日、町の除染実施計画の評価・検証について「広野町除染等に関する検証委員会」から平成27年1月に中間答申を受け、それ以降、広野町放射線健康対策委員会」において外部及び内部被ばく線量評価等のデータに基づき、町民に対する放射線の健康影響評価について継続的に検証を行い、広野町放射線健康対策委員会熊谷敦史委員長より答申を受けました。答申では、広野町における放射線被ばくは、健康への影響を及ぼすレベルではないとの結果でした。



開所を記念し行ったみかんの苗の植樹

4月14日、猪狩時子（いがり

ときこ）様が満100歳を迎えられ、県、町、社会福祉協議会並びに老人クラブ連合会と合同により、ご自宅において賀寿の記念品贈呈式を挙行了しました。4月17日、広野町保健協力員・母子推進員10名に対し、委嘱状の交付を行いました。保健協力員・母子推進員には、総合検診、乳幼児健診等事業にご協力をいただきました。

4月27日、広野町地域包括支援センター運営協議会を開催し、19名の委員に委嘱状の交付を行いました。同協議会では、地域包括支援センターの運営及び評価、地域における介護保険以外のサービスとの連携の形成等について協議を行います。

いごも家庭課

3月22日、広野町町制施行80周年を記念し、広野子ども園児たちが、駐車場南側の築山に、みかんの苗木の植樹を行いました。園児たちは、3、4人のグループに分かれ、スコップで土を掘り、合計10本の植樹を行いました。

4月3日、広野子ども園の入園式を議長ご臨席のもと実施しました。一歳児から五歳児までの21人が新たに入園し、こども

園の全園児数は89人となっております。

4月6日、広野町児童館の入館式を議長ご臨席のもと実施しました。16人が新たに入館し、児童館の全児童数は73人となっております。

5月21日、こども園の遠足を実施しました。当日はあいにくの雨となり、中央体育館での実施となりましたが、園児たちは保護者と触れ合いながらの体操やゲームに歓声をあげていました。新型コロナウイルス感染症対策のため、お弁当を囲んでの親子での昼食会は中止しました。



中央体育館で行われたこども園遠足の様子

環境防災課

3月28日、広野町消防本団と事務局により町内すべての消防屯所を現地確認し、消防車両やポンプの整備状況、消防器具の

配置状況など、消防機械器具の点検をしました。

4月1日、広野町交通安全教育専門員4名に委嘱状を交付し、4月6日の児童・生徒の登校時から4名体制で国道6号役場前交差点、折木大平交差点及び老人福祉センター前横断歩道において、交通事故防止活動を実施しています。

4月6日から4月15日までの「春の全国交通安全運動」期間中、国道6号役場前交差点及び駅前交差点等において、双葉警察署及び富岡地区交通安全協会広野分会のご協力をいただきながら、朝の通勤通学時間帯に交通立哨を実施しました。役場職員は期間中横断幕、手持ち看板などを持ち交通立哨を行いました。併せて4月6日から4月30日まで、児童・生徒の通学路における交通事故防止のため、登校時に役場職員による通学路巡回を実施しました。

4月13日、令和3年度第1回広野町消防団分団長・隊長会議を開催し、令和3年度における年次活動計画等について協議するとともに、消防団の活動方針を確認しました。

4月18日、総合グラウンドにおいて、令和3年度広野町消防団・婦人消防隊春季検閲式を十

分な新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、実施しました。消防団の厳格な規律や団結力を高め、町民の生命、財産を守ることを念頭に広野町消防団、広野町婦人消防隊、株式会社JERA（ジェーラ）広野火力発電所自衛消防隊、総勢55名の参加のもと挙行しました。検閲式では、県相双地方振興局長岸孝志様から広野町消防団秋田英博団長に総務大臣感謝状の伝達が執り行われました。



検閲式での通常点検の様子

4月21日、5月25日、広野町安心・安全ネットワーク会議は、国道6号役場前交差点及び県道広野小高線日の出橋交差点等において、交通事故防止のための交通立哨を実施し、安全運転を呼びかけました。

5月1日午前10時27分、宮城県沖を震源としたマグニチュード6.6の地震が発生しました。

本町では震度4を記録したことから、関係各課において警戒配備体制をとりました。この地震による被害は無かったことから、同日12時41分に警戒配備体制を解除しました。

産業振興課

本町の農業において、農業生産者の高齢化や後継者不足により担い手の育成が喫緊の課題となっております。公益財団法人福島県農業振興公社が事業実施主体となっている農業次世代人材投資事業は、若い世代の農業への参入を促すため、就農前の研修期間に資金を交付し、青年の就業意欲を喚起する事業であり、資金交付の要件の一つとして、県が認める研修機関において概ね1年以上の研修を受けなければなりません。町は、新規



(有)フロンティアひろのでの研修を受ける橋本さん

6月1日、ふるさと応援寄附金の返礼品として、寄附金額に応じて令和3年度特別栽培米コシヒカリや広野産米を原材料とする日本酒「広野産バナナ」綺麗」などを納税者に送付するための寄附金受付を開始しました。本年度の水稲作付面積について、現在、町内7工区で進められている県営ほ場整備事業実施地区のうち、田面工事が完了した、鶴ヶ崎、代、小滝平、南山、

就農者支援の取組として、農業関係団体等と連携を図り、令和3年3月29日付けで県より研修機関の認定を受け、将来、町内で就農を目指しているいわき市在任の農業研修希望者に対し、(有)フロンティアひろのを研修先として幹旋し、4月より農業研修を実施しています。

4月1日、町内での犯罪抑止及び児童・生徒の登下校時における交通事故防止のため、広野町警戒パトロール隊出動式を実施しました。令和3年度からは子供達や高齢者の安心・安全を確保し、地域住民にとって身近なパトロールを実施するため、町が任用した町民の隊員による町内全域のパトロール業務を午前7時から午前8時、午後3時から午後8時の時間帯で実施しています。

3月22日、広野町町制施行80周年を記念し、広野子ども園児たちが、駐車場南側の築山に、みかんの苗木の植樹を行いました。園児たちは、3、4人のグループに分かれ、スコップで土を掘り、合計10本の植樹を行いました。